



フラッグフットは鬼ごっこ感覚で楽しめました

第10回登米市スポーツまつり(同実行委員会主催)が10月15日、中田総合体育館と周辺体育施設で開催されました。スポーツに関心を深めてもらい、参加者の交流を目的に開催したのも、小学生を対象

市を挙げてのスポーツ祭典

市スポーツまつり



体力運動能力調査で長座体前屈測定をする参加者

としたチャレンジスポーツラリーやニューズスポーツ体験、大人を対象とした体力運動能力調査、中高年のための運動教室などが行われました。

チャレンジスポーツラリーでは、バレーボール、バスケットボール、野球、フラッグフットの4種目に元日本代表選手を講師に迎え、1人3種目に挑戦。フラッグフットを体験した小学生は「鬼ごっこのように相手を捕まえるところがおもしろかった」と話していました。

体力運動能力調査では、成年と高齢者に分かれ、握力や反復横跳びなどを測定。日ごろあまり運動しない人にはきつかったようですが、気持ちの良い汗を流していました。



バーノン市役所で行われた姉妹都市調印式で協定書に署名する両市長

市と交流を続けてきたカナダのバーノン市(人口約4万5千人・ブリティッシュコロンビア州)に、布施市長を団長とする訪問団が、10月12日から19日までの8日間にわたって訪問しました。

などにより困窮の村人を救うため、帆船「水安丸」でカナダに渡航して今年で百年目の節目を迎えた記念と、旧東和町が昭和61年から交流しているバーノン市と新たに教育や文化、産業経済など、幅広い分野で交流し、友好関係を築くための調印が目的です。

この事業は、市や国際交流協会、及川甚三郎渡航100周年事業実行委員会が連携して実現。青少年海外派遣団員、国際交流協会派遣団員、市民ツアー、市関係者ら90人が参加しました。

また、14日の水安丸渡海100周年記念レセプションと15日のバーノン市民との交流会に、東和町の飯土井神楽保存会が神楽を披露。華麗な舞に大勢の参加者から大きな歓声が上がりました。



水安丸渡海100周年記念レセプションでは、東和町飯土井神楽保存会が神楽を披露しました

水安丸渡海百周年を祝って カナダバーノン市と姉妹都市締結

圧巻!ジャンボのり巻き

佐沼秋のフリーマーケット



約250人の家族連れなどが挑戦した「ジャンボのり巻き100mに挑戦」(上)フリーマーケットの各ブースは掘り出し物やお宝品を探しに来る人たちでにぎわいました(中)子どもたちに人気だったレスキュー体験(下)

第10回佐沼秋のフリーマーケット(佐沼中央商店会主催)が10月15日、中江中央公園で行われました。この催しは、公園や市役所周辺の駐車場などを会場に利用するため、広大な販売エリアが特徴で、今年は約6500店が出店。地元商店会から飲食関係の出店もあり、東北最大級の規模を誇るフリーマーケットとして有名です。

商品が販売され、掘り出し物やお宝品を目当てに訪れた人たちで込み合いました。ステージでは、佐沼小・沼中吹奏楽部による演奏会や地元迫町出身の歌手、柳ジュンさんの歌謡ショーなどのイベントを開催。また、市消防本部の協力で、レスキュー・消火体験や防災ヘリコプターを使った市役所屋上からの救出訓練などの防災フェアも催されました。

家族連れなど約2500人が参加した「ジャンボのり巻き100mに挑戦」。キュウリとアナゴの入ったのり巻き100mが完成すると、参加者や見物客から大きな歓声が沸き起こりました。そのほか、この日に併せ、公園内で工事を進めてきた市民トイレが完成し、関係者によるテープカットのセレモニーを実施。澄み渡った秋空へ、たくさんのハトが放たれました。

中学生が非行防止に一役

登米警察署で4T隊発隊式



各学校の隊員に委嘱状が交付されました

中学生ボランティア4T隊の発隊式が10月14日、登米警察署で開催され、隊員の中学生や関係者ら約40人が参加しました。4T隊とは、登米署管内の登米、東和、豊里、津山のアルファベットの頭文字「T」を取ったもの。4地区の中学校から選出された隊員14人が、それぞれの活動目標を設定し、学校において非行防止や青少年健全育成活動を進める内容となっています。



遠山之里で来店者に花苗を手渡す中学生隊員

式では、土井一巧署長が「隊員に選ばれた皆さんには、各学校で非行防止活動を広めてもらい、安全で安心な地域づくりを協力してほしい」とあいさつ。隊員一人一人に委嘱状を交付しました。その後、参加者は遠山之里と株ウジエスパー登米店の2カ所に分かれ、パンジーの苗やティッシュなどを来店者に配りながら、子どもたちを見守ってほしいと呼び掛けました。